

夢甲斐塾 9月塾長例会

【開催概要】

- 日時： 平成 25 年 9 月 20 日(金) 19:30-22:00
場所： 小島精肉店（山梨県甲府市相生 2-16-5）
参加者： 上甲晃塾長、倉嶋清次笛吹市長、入倉要塾頭、OB・OGの方々、
13期生（1名欠席）

【会の流れ】

1. 開催の挨拶と 13 期宿題の発表
2. 入倉塾頭の話
3. 上甲塾長の話
4. 倉嶋市長の話
5. 会食
6. 閉会と次回の予定の共有

【会の詳細】

1. 開催の挨拶と 13 期宿題の発表

13 期広瀬リーダーより、開催の挨拶と宿題の結果発表があった。出されていた宿題は「13 期の全員の出席」であったが、1 名が仕事により欠席となり、宿題の達成はできなかった。ただ、次回以降再度しっかりと連絡を取り合い、この宿題の達成をしたいと語った。

2. 入倉塾頭の話

例会はシティーホールを借り切ることが多いが、今回はひと味違う場所での開催になったことが興味深く、こういった手探りの中で 13 期同士の絆を深めたり、特色を出して行って欲しいという話をして下さった。

3. 上甲塾長の話

塾長からは、次の 3 つのポイントを意識して、「学歴や職歴が一流であるかどうかではなく、『人間一流』になって欲しい」というお話があった。

1. 相手の気持ちを知ること
2. 小さなことの積み重ねが大きなことになるということ
3. 言行一致と継続が本気さの指標となるということ

そして、それらについて、下記に記した数個の話をして下さった。

1. 相手の気持ちを知ること

○座布団の話

相手目線に立つことで意識すべき部分が見えてくる。

たとえば、座布団を踏むという良くやりがちな行為がある。座布団には、お客様を快くおもてなししたいという店主の気持ちが入っているため、座布団を踏んでしまうということは店主の気持ちを踏みにじることになる。そういった行為は自分は気にならなくても相手は意識して見ている。そのため、相手がどういう気持ちを持っているのかを意識することが大切になる。

○片付けの話

「もう 1 度この人と会いたい。この人たちに来てもらいたい」と思ってもらえる人にはチャンスが巡ってくる。

「初めはよそ行き、去っていくときに素が出る」というように、初対面の印象を良くしようと思う人は多いが、帰り際は気を緩めてしまったりして素を出してしまうことが多い。たとえば、宴会の終了時やホテルを出るときなどに「後片付けはお店がやってくれるからいいや」と気を抜いてしまうことなどがある。そのため、帰り際にどういう立ち振る舞いをしたら良いかと考え、実践することが大切になる。

2. 小さなことの積み重ねが大きなことになるということ

○雑用という用事はないという話

いわゆる雑用には学ぶべきことがたくさん入っている。

単純作業でも、「どうやったらもっと速くできるか」「違うやり方はないか」と、能動的に考えると、考えるべきことはたくさん出てくる。「雑でも良いと思う気持ちが用を雑用にさせる」というように、なにごとにも自分で意味を見つけしていく姿勢が大切になる。

○しっかりと小さな仕事をこなす話

人は大きなことをやりたがるが、小さなことをしっかりとこなすことが大き

なことにつながっていくことを覚えておいて欲しい。

小さいことを真摯に、すぐに実行していけば、「すまん、こんなわずかなことで・・・」という感謝の気持ちが生まれてくる。そして、「どんな小さなこともしっかりとやってくれる人」と、信頼感が高まり、大きな仕事を任されるようになっていく。

3. 言行一致と継続が本気さの指標となるということ

○言行一致の話

人になにかを言うときに、言っていることとやっていることが違っていたら説得力がない。そのため、ストイックに言行一致を貫くことが本気さを表し、仲間もついてきてくれるようになる秘訣である。

○継続が大切という話

言行一致と同様に大切なのは、継続をすることである。

すぐにできること、短時間でできることでも、毎日継続をしていくとなるとぐっとハードルが高くなる。そのため、なんらかの活動でも継続をしていること自体で、それが本気さを表すものにつながっていく。

そして、今回の宿題の意図の説明も併せてして下さった。全員出席をするためには、「どういった場所が集まりやすいか」「どういう会ならば快く来たがるか」ということを考えることになる。そうすると、自然と「13期メンバーを互いに知ること」につながっていく。これから1年間、そして、期が終わっても交流が続くかもしれないメンバーのことをまずは知ることが大切だと塾長は説明して下さった。

「13期生の全員出席」という宿題にも、相手を知ること、13期が全員出席したからといってどうなるという訳ではないが、そういった小さいことを着実にこなすということ、達成すると言ったのならば有言実行させることという、人間一流のエッセンスが詰まっていることを実感することができた。

4. 倉嶋市長の話

夢甲斐塾立ち上げ時に、上甲塾長を山梨県に紹介をしたのが倉嶋市長だったという当時の話をして下さった。

5. 会食

別室に移り、甲州ビーフなど、焼き肉とすき焼きを食べながら会食を楽しんだ。

6. 閉会と次回の予定の共有

広瀬リーダーから来場のお礼と閉会の言葉があった。

そして、次回の例会は、下記の通り開催することとなった。

【10月の例会の開催概要】

日時：平成25年10月9日（水） 19:30～21:30

場所：いちみや桃の里ふれあい文化館 会議室

（山梨県笛吹市一宮町末木 921-1）

電話：0553-47-6066